

第44回 新春サークル発表会

2/7・8

岡田地区地域づくりセンターにて賑やかな2日間

館報 おなだ

笑顔でかわるあいさつが
岡田のみんなの合言葉



地域づくりセンター

1 日目に行われたステージ発表の部では、まず地域づくりセンター職員が後を絶たない特殊詐欺の寸劇を披露、一人暮らしの老人や美人詐欺師、ニュースキャスターに扮した体当たりの演技に会場は笑いの渦に。また、「岡田歴史研究会」の発表では、新たに紐解かれてきた岡田の歴史の数々に会場からは驚きの声が上がりました。

「岡田地区まちおこし協議会」は、昨年引き続き素晴らしい切り絵の紙芝居『田溝池の大蛇』で観客を魅了、「太極拳」は2つのサークルが参加し、剣や扇を使った演武を、「東区民踊クラブ」は馴染み深い民謡を披露しました。

音楽サークルのステージでは「文化箏サークル」「童謡・唱歌を楽しむ会」「ソプ

ラノ独唱」、信州大学生の「フルート四重奏」「混声合唱団」の参加もあり、さわやかな音色や歌声に合わせ、思わず一緒に口ずさむ場面が沢山ありました。ラストを飾った、信大混声合唱団のアカペラの伴奏で「ふるさと」を全員で歌い発表会は幕を閉じました。

調理室も始終賑やかで、ステージ発表の休憩時間には「三水会」が手打ちそばを振る舞い、交流会では「男衆の料理教室」が山賊焼きで腕ふるっていました。

2 日間行われた展示の部には、岡田地区で活動している個人と約20のサークルの手芸品・写真・切り絵・わら細工・草木染め・木工品など小作品から大作まで多数飾られ、仲間との集いを楽しみながら、制作に打ち込む姿が想像できるようなりました。

サークルは昔も今も仲間づくりと繋がり場の場であり、岡田の発展にはなくてはならない宝物です。

もし、何かを始めたいと思っているかたがいたら、興味あるサークルの活動を気軽に覗いてみてはいかがでしょう。どのサークルも随時お仲間募集中です。

(取材 上條敦子)



岡田太極拳



信州大学吹奏楽団



J A 女性部



岡田歴史研究会



フラワーサークルあやめ



東区民踊クラブ



岡田地区まちおこし協議会



岡田絵手紙教室

人物登場

トカラ列島で
大物釣り

岡田町
宮下 典生 さん

幼少時より釣り好きだったという宮下さんは今では魚を求めて、鹿児島県のトカラ列島まで行くそうです。

トカラ列島は屋久島と奄美大島の間に位置する12の島々からなる。周辺の海は海流の勢いも強く、日本で一番大きく力の強い魚が集まる事で有名であり、その魚たちと対決しようと釣り人たちが目指すのだという。

宮下さんは釣り仲間と共に、諏訪之瀬島に住む船長さんの船で5、6日かけて海釣りを愉しむ。

朝5時に海に出て、まず朝食を釣るよう船長から言われ、糸を垂らすとすぐ釣れる魚を味噌汁の具にして、一日が始まる。

その後は日が暮れるまで、大物を求めて釣り三昧。25cmの大きなルアーで狙う魚は、キハダマグロ、ロウニンアジ、バシヨウカジキ、カンパチ、イソマグロ等10kg〜100kg



特大のロウニンアジと破顔一笑宮下さん

の特大級の魚ばかり。魚によつては水深150mまで糸を垂らす。

見渡す海には自分達の乗る船しかなく、壮大な景色のこと。

時には1時間以上、魚と格闘する。人間と魚の一对一の戦いの末、大物を釣り上げる達成感が最大の魅力とのこと。

「まあ、船長に会いに行ってるんだけどね。」と笑う宮下さん。

夜は、一番近い島の民宿に泊まり、大宴会になる。

釣り上げた魚の最高記録は、体長150cm 重さ50kgのロウニンアジで、仲間の中には100kg級のマグロを釣り上げることも。

釣れた魚を島民50人の小学校に寄付したこともあった。お話に感心していると、「仲間間に恵まれていてね。」と感謝の思いを話してくれました。

3/6

その時 岡田地区防災訓練
どう避難する? 182人が参加

マグニチュード8、最大震度7の地震発生、家屋の半壊・ブロック塀倒壊多数、上下水道・電話は不通という設定で、避難訓練が行われました。

第一部では常会ごとの安否確認を町会単位で集計、第二部では岡田体育館で全体訓練。参加者は煙道訓練、防災アドバイザーの吉田亮一氏

の講話、救護訓練、給食訓練など本番さながらの真剣な表情で取り組んでいました。吉田氏から地震が起きる前に準備する6品は、厚底スニーカー・靴下・懐中電灯・防犯ブザー・帽子付のウインドブレーカー・携帯ラジオと説明がありました。



煙道訓練



消防士から止血法を学ぶ



AED実践

40数年前にもなるか、初めてプロ野球を生で見た。現在の松本市野球場のところ、県営球場である。ヤクルト対広島の結果こそ覚えていないが、肩の強さ、打球の速さにびっくりしたものである。「野球は巨人」の時代、知っている名前前は、若松、衣笠くらいだった。

生活雑記

松本市野球場に想う

山浦 X・O

その数年後は、高校時代の巨人原監督がいた東海大相模対松商。全国的大人気の原はホームランを打った。確かその日は、大学野球の江川も

松本に来ていたと記憶している。時代は平成に変わり、県営球場は、長野県では珍しかった芝生のスタジアム、松本市野球場に生まれ変わった。ここから

ムも溢れんばかりの超満員だった。 昨今、野球人気の低下が囁かれるが、オールドファンからすると、ONが現役を去ったころからすでに始まっている。本物のスターはいなくなつた。生まれ持った髪の色を変えたり耳飾りはいらない。スポーツ選手はファッションや子供の手本であつてほしい。

最近、元超一流選手が不祥事で逮捕されたことを受け